



平成23年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場会社名 株式会社 夢真ホールディングス 上場取引所 大
 コード番号 2362 URL http://www.yumeshin.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼社長 (氏名)佐藤 真吾
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)矢島 英一 (TEL)03(5981)0672
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年9月期第3四半期の連結業績(平成22年10月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年9月期第3四半期	4,273	17.6	471	11.7	475	5.2	196	△28.4
22年9月期第3四半期	3,632	—	421	—	451	—	273	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年9月期第3四半期	3 25	—
22年9月期第3四半期	4 24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年9月期第3四半期	6,998	1,917	24.6	29 01
22年9月期	5,082	1,956	38.5	31 25

(参考) 自己資本 23年9月期第3四半期 1,718百万円 22年9月期 1,954百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年9月期	—	1 00	—	1 00	2 00
23年9月期	—	1 00	—	—	—
23年9月期(予想)	—	—	—	1 00	2 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年9月期の連結業績予想(平成22年10月1日～平成23年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,200	7.0	620	19.2	620	12.3	350	△18.8	5 45

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4「その他」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 有
新規 1社（株式会社夢テクノロジー）、除外 1社（ ）

（注） 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

（注） 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

- ② ①以外の変更 : 無

（注） 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年9月期3Q	74,573,440株	22年9月期	74,573,440株
23年9月期3Q	15,335,584株	22年9月期	11,967,784株
23年9月期3Q	60,306,581株	22年9月期3Q	64,682,400株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第3四半期連結累計期間】	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、先行き不透明感から雇用、所得環境は依然として厳しいものの、企業収益に一部持ち直しの動きをみせる等、概ね緩やかな回復基調で推移いたしました。しかし、平成23年3月11日に発生いたしました東日本大震災は、東北地方、関東地方に止まらず、国内経済に多大な影響を及ぼしております。

建設業界におきましては、公共事業の減少、民間設備投資の手控えは続いているものの、住宅ローン減税を背景に、マンション販売が順調に推移し、それにともない新設マンション着工戸数も緩やかな回復を見せております。

このような事業環境の下、当社グループの中核事業であります建設現場への技術者派遣事業におきましては、新設マンション着工戸数の増加に加え、東日本大震災の影響による首都圏近郊での補修工事等の案件も増え、技術者派遣の需要は堅調に推移しました。その結果、当第3四半期連結累計期間の平均稼働率が96.6%となり、前年同期の平均91.2%と比較し上昇いたしました。また、継続的に行っている採用活動により、技術者数におきましても、平成23年6月末現在823名と前年同月末の699名と比較しまして増加いたしました。

保育園事業におきましては、保育サービスの需要が高い東京都および神奈川県において、認証保育所を3園運営しております。

医療介護支援事業におきましては、高齢社会が進む中、医療介護支援サービスのニーズの増加を背景に、より良い医療介護支援サービスを提供し、高齢者の方々が生き生きとした生活をおくれる環境を整備すべく、デイサービス事業に参入し、平成23年7月1日、文京区と板橋区にそれぞれ施設を開設いたしました。

また、新たな「高付加価値の人材派遣」事業に参入すべく、平成23年5月31日付で、株式会社夢テクノロジー(旧・株式会社フルキャストテクノロジー)を子会社化いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高4,273百万円(前年同四半期比17.6%増)、営業利益471百万円(前年同四半期比11.7%増)、経常利益475百万円(前年同四半期比5.2%増)、四半期純利益196百万円(前年同四半期比28.4%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べて1,916百万円増加し、6,998百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加517百万円、受取手形及び売掛金の増加706百万円、のれんの増加710百万円等によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べて1,954百万円増加し、5,080百万円となりました。これは主に、社債の増加850百万円、退職給付引当金の増加273百万円等によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて38百万円減少し、1,917百万円となりました。これは主に、四半期純利益として196百万円計上いたしました。が、剰余金の配当122百万円と自己株式の取得339百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

株式会社夢テクノロジー(旧・フルキャストテクノロジー)を、平成23年5月31日に子会社化いたしました。実質の経営参画は平成23年7月1日からとなります。そのため、業績に与える影響は現在精査中です。確定次第お知らせいたします。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

当第3四半期連結会計期間より、株式会社夢テクノロジー(旧・株式会社フルキャストテクノロジー)の株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

なお、みなし取得日を平成23年6月30日としているため、当第3四半期連結会計期間においては、同社の貸借対照表のみ連結しております。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(固定資産の減価償却の算定方法)

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法)

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(連結会社相互間の債権債務及び取引の相殺消去)

・連結会社相互間の債権と債務の相殺消去

当該債権の額と債務の額に差異が見られる場合には、合理的な範囲内で当該差異の調整を行わないで債権と債務の相殺消去しております。

・連結会社相互間の取引の相殺消去

取引金額に差異がある場合で当該差異の重要性が乏しいときには、親会社の金額に合わせる方法により相殺消去しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

なお、これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,537,184	2,019,777
受取手形及び売掛金	1,427,666	721,099
たな卸資産	1,136	1,341
その他	230,821	321,809
貸倒引当金	△66,060	△36,773
流動資産合計	4,130,748	3,027,254
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	853,525	703,062
減価償却累計額	△99,342	△68,966
建物及び構築物(純額)	754,182	634,095
土地	—	577,503
その他	735,363	38,395
減価償却累計額	△105,507	△19,660
その他(純額)	629,855	18,734
有形固定資産合計	1,384,038	1,230,333
無形固定資産		
のれん	741,248	30,616
その他	45,300	5,881
無形固定資産合計	786,549	36,497
投資その他の資産		
その他	751,982	841,332
貸倒引当金	△54,900	△53,319
投資その他の資産合計	697,082	788,012
固定資産合計	2,867,671	2,054,843
資産合計	6,998,419	5,082,098

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	24,077	8,362
短期借入金	1,102,000	22,000
1年内償還予定の社債	220,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	369,164	580,000
未払法人税等	84,850	1,056
賞与引当金	164,583	39,387
その他	832,147	350,816
流動負債合計	2,796,822	1,101,623
固定負債		
社債	1,130,000	400,000
長期借入金	744,448	1,620,000
退職給付引当金	273,598	—
資産除去債務	2,966	—
その他	132,600	4,231
固定負債合計	2,283,613	2,024,231
負債合計	5,080,436	3,125,854
純資産の部		
株主資本		
資本金	805,147	805,147
資本剰余金	867,545	867,545
利益剰余金	1,763,760	1,692,961
自己株式	△1,715,145	△1,375,291
株主資本合計	1,721,306	1,990,362
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,043	△35,919
評価・換算差額等合計	△3,043	△35,919
少数株主持分	199,720	1,799
純資産合計	1,917,983	1,956,243
負債純資産合計	6,998,419	5,082,098

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)
売上高	3,632,251	4,273,227
売上原価	2,520,287	2,971,762
売上総利益	1,111,963	1,301,464
販売費及び一般管理費	690,394	830,428
営業利益	421,568	471,036
営業外収益		
受取利息	2,883	2,853
受取配当金	3	5
受取家賃	61,028	53,856
助成金収入	47,154	—
補助金収入	—	62,333
その他	39,691	40,319
営業外収益合計	150,761	159,368
営業外費用		
支払利息	46,797	53,056
貸貸収入原価	27,532	23,108
その他	46,166	78,747
営業外費用合計	120,496	154,913
経常利益	451,833	475,491
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,693
貸倒引当金戻入額	11,201	1,962
その他	349	—
特別利益合計	11,551	3,655
特別損失		
固定資産売却損	21,938	—
固定資産除却損	—	21,136
投資有価証券売却損	—	38,052
投資有価証券評価損	—	21,115
訴訟和解金	80,237	—
その他	10,588	3,338
特別損失合計	112,764	83,642
税金等調整前四半期純利益	350,620	395,504
法人税、住民税及び事業税	14,019	75,909
法人税等調整額	82,299	124,228
法人税等合計	96,319	200,138
少数株主損益調整前四半期純利益	—	195,366
少数株主損失(△)	△19,655	△720
四半期純利益	273,957	196,086

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本準備金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前連結会計年度末残高	805,147	867,545	1,692,961	△ 1,375,291	1,990,362
当第3四半期連結累計期間 末までの変動額					
剰余金の配当			△ 122,495		△ 122,495
四半期純利益			196,086		196,086
連結範囲の変動			△ 2,792		△ 2,792
自己株式の取得 ※				△ 339,854	△ 339,854
当第3四半期連結累計期間 末までの変動額合計	—	—	70,798	△ 339,854	△ 269,055
当第3四半期連結累計期間 末残高	805,147	867,545	1,763,760	△ 1,715,145	1,721,306

※平成22年5月14日、10月29日、12月15日及び平成23年2月15日、5月18日、7月11日の取締役会決議に基づき、3,367,000株取得いたしました。